

つくろう職場に労働運動を！ ひろげよう闘いを 職場に、地域に、全国に！



国労西日本

国労西日本本部

NO. 377

発行責任者 植田 重信
編集責任者 大北 真也

国労西日本HP



国労西日本

検索



TUNAG

TUNAGを利用中
組合員の皆さん登録しよう
登録は西日本本部または地方本部へ

大幅賃上げ 職場から声を獲得 最後まで闘おう！

第45回拡大委員会を開催！



挨拶する松尾議長 ↑

み織ていく害能 れ出ま副 た。定方面と
、強い復さで登植まのり委員委員
J化く興れ避半田し松、員員
R・、・て難島執た。委長の会
の拡世復お生地行。員に開、
安大界旧り活震委 がは会大
全の情に一がや員 選近で和
問取勢協日余豪長 出幾は執
、組組し早な災ら、 さ選じ行

0か課織をこり大会
2ら題拓行れモ西館
5全と大なま1日2月
年組位・うでト本に8
春合置強との併本い日
闘員付化と運部て、国
をでけをも動で委第労
は闘、最にの開員45大
じう職重、総催会回阪
め2場要組括しを拡



行委が政い地
委員国あり治方
が労本25公
第本あり的公
1部ま課春交
9よりた題闘通
5鈴ななどの守
回木のりる
拡執 挨拶み

を後言わを面そあ約 行 情 社 春 リ 組 組 大
行、がれ行すのり・河な 行 な 勢 の 闘 の み 中
ない大あり名い闘大承協野い等安に推や拡央
、書まの、争北認業まに全つ進T大委
伊記した員論針記ま締部たれ題て、いU・員
野長。かが行提がた確か 挨 国 J て G の 報
執行集答から発な 拶 内 R 、 ア 告
委約弁発案 当。が協 を外各25プリ、

で委員和し員
閉長採が
会の択委
しま副会
ま員宣
した員言
。の長提
。バのの
ー口行大



地域公共交通を守る 全国統一行動報告集会



2月8日（土）10時より「地域公共交通を守る全国統一行動報告集会」を開催しました。

波見執行委員の司会で開会し、植田執行委員長の主催者挨拶を受け、各地方本部からこれまでの取り組みの報告や今後の取り組み等が報告されました。

大北書記長がまとめを行ない、閉会しました。



執行委員長挨拶要旨



能登半島地震から1年、豪雨災害もあり、

未だ仮住まい生活を余儀なくされており、日常生活に支障をきたしている。生活の再建と地域の復興を願う協力していきたい。

組織強化・拡大では、

西日本本部として全機関の取り組み状況・到達点を共有しながら克服すべき課題を確認。組織拡大・強化に全力を上げ、到達目標である各地方本部1名以上の組織拡大をやりきるため、動きを止めず大きな流れを築き上げよう。意思統一してきた。次世代へ国労運動と組織を繋いでいくため全組合員が職場から運動を展開することが重要である。機関紙やHP・SNS、活用し、情報を発信しながら「知ってもらい、見える国労運動」に力を入れる。職場環境・労働条件改善のため、要求の多数派から組織の多数派に向けて前進させていくことが重要である。

安全・安心の鉄道輸送の確保では、

制をはじめ各系統において業務の見直し、機械化・システム化・委託化・効率化など「合理化・効率化」施策がより一層加速

している。要員削減、労働環境・技術継承の課題など、抜本的な改善を求めたい。安全・安心の鉄道輸送の確保、労働条件の改善と健康で安心して働ける職場づくりを続けること。はじめ闘いを進めることが益々重要である。JR各社で重大事故が多発し、労働者・利用者の生命を脅かす事象が相次いでいる。「安全総点検・仕事総点検」から安全に必要な要員確保と労働条件の改善、職場環境・技術継承の課題など、抜本的な改善を求めなくてはならない。鉄道輸送の最大の使命である「安全」が成り立ってこそ「安心」が生まれる。社会インフラとしての重要な鉄道を守り、安全・安心の輸送の確保、労働条件の改善と健康で安心して働き続ける職場づくりの闘いを進めていく。「二度と家族や仲間を悲しませる事故を発生させない」決意をひとつに「いのちの歩みとしての『安全』へなればならない。公共交通安全を守る闘いでは、JR会社は政府から「公益事業」の指定を受けた事業である。西日本会社は区間別収支を発表しているが、分割・民営化で引き継いだJRがそ

の使命や役割、社会インフラを担っていることは変わるものではない。地方交通線の存続は地方・地域の将来展望に関わる極めて重要なことである。「地域公共交通活性化再生法」が一施行され、西日本会社は「協議会」の設置を国に要請し、芸備線について関係する岡山県・広島県をはじめ当該の各市と「再構築協議会」の会合が行なわれている。国民が安心・安全に社会生活が営めるように国の役割を果たさなければならぬ。公共交通機関としての役割と鉄道の安全を守るため、労働組合として取り組んで行く決意である。

春闘についてでは、

日本の経済状況は株価高騰やインバウンド需要など一見明るい先行き感があるが、直近の消費動向調査でも指数は「改善に足踏み・据え置き」と24春闘の賃上げ水準では生活改善に結びついていない。物価は更に上昇する状況である。25春闘では、前年と比較物価高騰分を上回る大幅賃上げを勝ち取る必要がある。企業は「社会的責任」を果たす観点から、内部留保の一部を労働者の賃金や社会的還元を行なうべきであり、内需拡大・生活

充実の経済へ転換する国民的運動の発展を図ることが求められている。職場には多くの不平・不満・怒りが渦巻いている。職場討議・職場集会など春闘の闘う体制作りを図り「一職場・一要求」「安全総点検運動」を確立し、現場長申し入れや大衆行動を組織し、労働者の要求実現に向け闘う態勢を確立し、各級機関・職場での意思統一、組織の団結と全組合員総決起で闘う体制の確立を図って頂きたい。労働組合は要求し、団結し、闘わなければ要求は勝ち取れない。

職場・地域から力を合わせ奮闘しよう。政治状況では、昨年の総選挙において「数の力で」強行政を行なった。国民の運動により情勢を大きく変える・転換できるチャンスでもある。「新自由主義経済」により国民生活に多大な影響を及ぼしていることに反省をしていない。物価の高騰、社会保障制度をはじめ医療体制の充実と拡充、真の経済対策、外交・安全保障、政治とカネの問題の徹底説明、災害に強い基

盤づくりなど国民が安心して暮らせる社会の再建が求められている。自民党政権が推し進める『戦争する国づくり』の暴走を終わらせるため来るべき参議院選挙の勝利に向け真の野党共闘と市民と野党の共闘が重要であり、全力で奮闘することが必要である。西日本本部執行部は、25春闘勝利、大幅賃上げ獲得、労働条件改善、諸要求・諸課題の実現に向け、闘いの先頭に立つ決意を表明し、西日本本部執行委員会を代表しての挨拶とする。

がん保険にできることを、もっと。

「生きる」を創るがん保険 WINGS

No.1 アフラックがん保険・医療保険保有契約件数 令和4年度 インシュアランス生命保険統計

幅広い保障による経済的な安心に加え、さまざまながんの悩みの解決をサポートするがん保険

ポイント1 幅広い保障で経済的負担をサポートします。治療前の検査から治療後の外見ケアまで幅広い保障でしっかり備えることができます。また、公的医療保険制度の対象とならない新しい治療なども保障し、がん治療の選択肢が広がるようサポートします。

ポイント2 付帯サービス＜アフラックのよりそうがん相談サポート（※）＞「アフラックのよりそうがん相談サポーター」がさまざまながんの悩みの解決をサポートします。よりそうがん相談サポーターは、がん患者様のご相談サポートの経験がある看護士・社会福祉士等のメンバーで構成された専任のサポートチームです。お一人おひとりによりよい、信頼できる情報やサービスのご案内を通じて、納得のいく治療・療養生活や意思決定を実現できるようご支援いたします。

（※）アフラックのよりそうがん相談サポートはHatch Healthcare株式会社が受託するサービスであり、アフラックの保険契約による保障内容ではありません。サービスの詳細は、アフラック公式サイトホームページ <https://www.aflac.co.jp/keiyaku/gansoudansupport.html> をご確認ください。

©商品およびサービスの詳細は「パンフレット」「契約概要」などをご確認ください。